

令和 6 年 5 月 5 日

役員会議事録

概要：本役員会では令和 4, 5 年度（2021/9~2023/8）の活動報告を行う。また、令和 6, 7 年度以降の会の今後についても話し合いが行われたのでその経過報告を行う。

目次：

- ・短期集中講座『先輩は語る』開催報告
- ・四葉研究会開催報告
- ・事業提案
- ・会の今後について

短期集中講座『先輩は語る』開催報告：

令和 4 年度：開催

講座は本会役員、弓林、山井が発表を行った。1 日目は弓林が本会の紹介、“データサイエンス”について語った。2,3 日目は山井が“統計の基礎”、“機械学習の基礎及び簡単な実装”について語った。

令和 5 年度：中止

希望者数が開催人数に至らず。

『四葉研究交流会 20XX』開催報告：

令和 4 年度：開催

2022 年 3 月 19 日に、卒業生、及び、招待講演者による研究交流会『四葉研究交流会 2022』がリモートにて開催された。参加者は在校生 7 班、卒業生、招待講演者からなる講演者 10 名、聴講者 2 名の 7 班+12 名だった¹。以下に概要を報告する：

午前に在校生による口頭発表（7 班）、午後に卒業生及び招待講演者による口頭発表（10 名）が行われた。大学 4 年生から社会人研究者に至る、様々な年齢、分野の人々による研究発表が行われた。午後の部の終わりに、本校教諭金子雅彦による講評、及び、全体投票で決定された 1 班+2 名の優秀者に対し会長山井による表彰が行われた。

令和 5 年度：中止

日程が調整出来ず。

¹ 研究会の詳細は研究会ホームページ (<https://st-yotsubakai.jp/projects/ycr2022/>) を参照のこと

事業提案（新規，継続，廃止）：

上記で報告した通り、現在、本会では以下の事業が（計画中を含め）行われている²：

- ・短期集中講座支援：
1回短期集中講座を開講し、講演を行った。
- ・研究会の開催：
『四葉研究交流会 2022』を開催した。
- ・研究資料共有データベース『STリポジトリ』設置：
廃止

”研究資料共有データベース『STリポジトリ』設置”を”廃止”とし、その他全事業の”継続”が提案され、承認*。

*総会中止の為会員による承認を省略し役員会で承認を行なった

会の今後について：

2024年5月現在、本会の主たる活動は『短期集中講座』、『四葉研究交流会 20XX』、『X0周年記念行事』、及び、その他学校側とのコミュニケーション、本会ホームページ運用などの雑務である。

今後、『短期集中講座』、『四葉研究交流会 20XX』について可能な範囲での開催を目指したいが、諸般のハードル（学校側との調整、発表者の確保等）から事業の縮小が想定される³。また、『X0周年記念行事』については“卒業生から設備寄贈（ex. 20周年記念行事の際、体育館舞台上の舞台幕”緞帳”を寄贈）”等を実施しており、学校からも感謝頂いている為、継続を目指したいが、その他の活動が縮小（ゆくゆく中止も）する中、本会の主たる活動が『設備寄贈』となる組織の色合いが濃くなり、その場合は本会会則の見直し（第2,3条の目的、運営、第6,7章の総会、会計）が必要と考えられる。

² 内容は <http://st-yotsubakai.jp/projects/>を参照のこと

³ 実際、令和6年度についても『短期集中講座』、『四葉研究交流会 20XX』は開催できていない